

SEforALL関連でインドのコンファレンスに参加しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受け、SEforALL事業を以下の項目を中心に推進しています。

- (1) 日本でのワークショップ開催（テーマ：ビル分野の省エネ）
- (2) 海外でのワークショップ・コンファレンス等への参加
- (3) ナレッジデータベースの充実化

今回は、インドで開催されたDSEE(An International Conference on Demand Side Energy Efficiency)に、SEforALLのKnowledge Hubでもある世銀からの要請を受けて、スピーカーの一員として参加しました。

発表のようす



今回のコンファレンスは世銀と、EESL(Energy Efficiency Service Ltd.)が共催し、ADB、IEA、C2E2、BEE(Bureau of Energy Efficiency India)が後援する形で開かれました。

ECCJ は、世銀からの要請を受け、世銀、EESL が共同議長を務める、セッション4 Mainstreaming EE as an Energy “Resource” -Global Experiences and Best Practices で、テーマ名「日本における省エネルギー政策と、関連投資について」のプレゼンと、同セッション全体の討議に参加しました。主な内容は以下の通りです。

- 1) H29年度から非住宅建築物は、省エネ基準を満たさない場合、建造が不可能となった。
- 2) 今後は、住宅部門も省エネ基準の適用が強化される予定。結果として、2030年の全体としての国家省エネ目標 35%（2013年比）達成を目指す。